



データセンターの成長戦略

IR DAY 2022

本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

本日の登壇者



Sharad Sanghi

Acting Senior Executive Vice
President, Data Center and
Marine Cable, NTT Ltd.

Managing Director, NTT Ltd.
India



鈴木 康雄

Executive Vice President,
Data Center Service
NTT Ltd.



Doug Adams

President and CEO,
NTT Global Data Centers
Americas, Inc.

本日のプレゼンテーション要旨

NTTのデータセンター事業は、積極的な投資をグローバルで加速することにより、継続的な成長を実現

NTTグローバルデータセンターは、世界トップクラスの拠点展開を行っているだけでなく、NTTグループ各社との連携により、データセンター専門の事業者では提供できないフルスタックソリューションをワンストップで提供し、差別化を実現

データセンター事業は、これまでの実績に裏打ちされるように非常に安定した高収益・高利益のビジネスであり、今後もさらなる成長が期待できる事業

サステナビリティは、事業の核として位置付けられており、今後全データセンターへ展開して、全てのお客様に提供可能とすることにより、サステナビリティ分野のリーダーを目指す

革新的な冷却技術や、柔軟性の高いモジュール設計により、ハイパースケーラーから企業ユーザに至る様々なお客様の需要に応えることが可能で、かつエネルギー効率の高いサービス提供を実現



データセンターの成長戦略

IR DAY 2022

Executive Vice President

Data Center Service, NTT Ltd.

鈴木 康雄

Contents



01

市場動向

02

拠点展開の状況

03

収益と設備投資

04

差異化戦略

05

データセンター
を要とした
GTM戦略

06

成長戦略

07

サステナビリティ
の取組み

08

アメリカでの事例

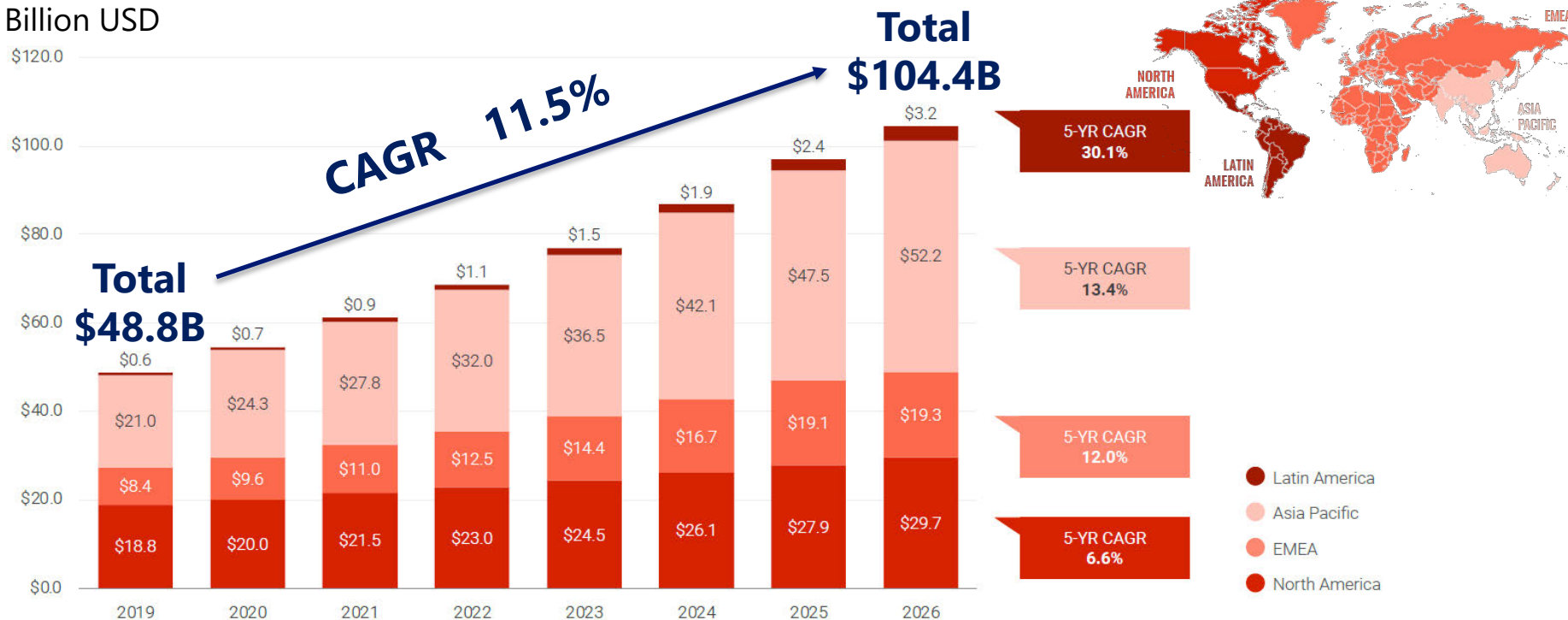
市場動向

市場成長の予測



APAC地域は特に大きな成長が予想され、
グローバル年平均成長率は11.5%と見込まれている

In Billion USD



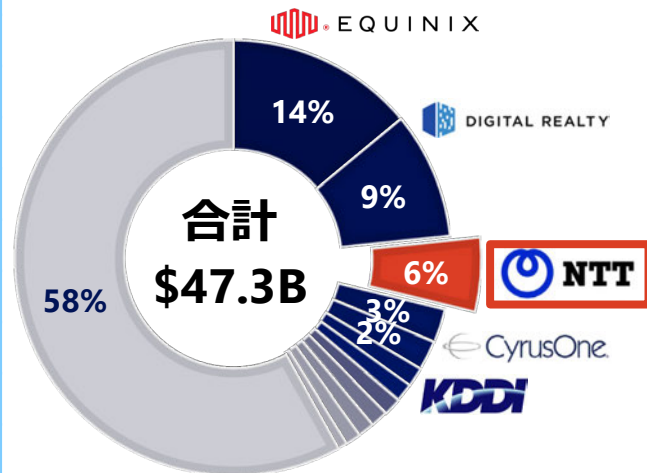
市場におけるNTTのポジション



データセンター事業者シェア¹

Global IDC MarketScape Vendor Assessment

	事業者
1	Equinix
2	Digital Realty
3	NTT GDC
4	CyrusOne
5	KDDI
6	Cyxtera
7	Flexential
8	CoreSite
9	QTS
10	Switch
	Others



参照リンク:

[Leader in worldwide colocation and interconnection services \(global.ntt\)](https://www.global.ntt)

データセンター事業者で
NTTは世界第3位

IDCによる評価で
リーダーポジションを獲得

1. 中国事業者を含まず。Structure Research 2022 ReportよりNTTにて作成

拠点展開の状況

データセンター 拠点

20+ 国/地域 93 拠点 141 棟
1,073 MW IT Power (提供済み) + 702 MW (計画中)

Americas

アメリカ
ヒルズボロ | サクラメント
ベイエリア |
ダラス | シカゴ
アッシュバーン

EMEA

イギリス | ロンドン
ドイツ
フランクフルト | ミュンヘン
ベルリン | ハンブルク | ボン
オランダ | アムステルダム
スイス | チューリッヒ
オーストリア | ウィーン
スペイン | マドリード
南アフリカ | ヨハネスブルグ

India

インド | ムンバイ | バンガロール
チェンナイ | ノイダ

APAC

日本 | 東京 | 大阪 | 京都
中国 | 香港 | 上海
マレーシア | サイバージャヤ
シンガポール
タイ | バンコク
ベトナム | ホーチミンシティ | ハノイ
インドネシア | ジャカルタ

299MW

提供済み

+292MW

計画中

371MW

提供済み

+90MW

計画中

138MW

提供済み

+277MW

計画中

265MW

提供済み

+43MW

計画中

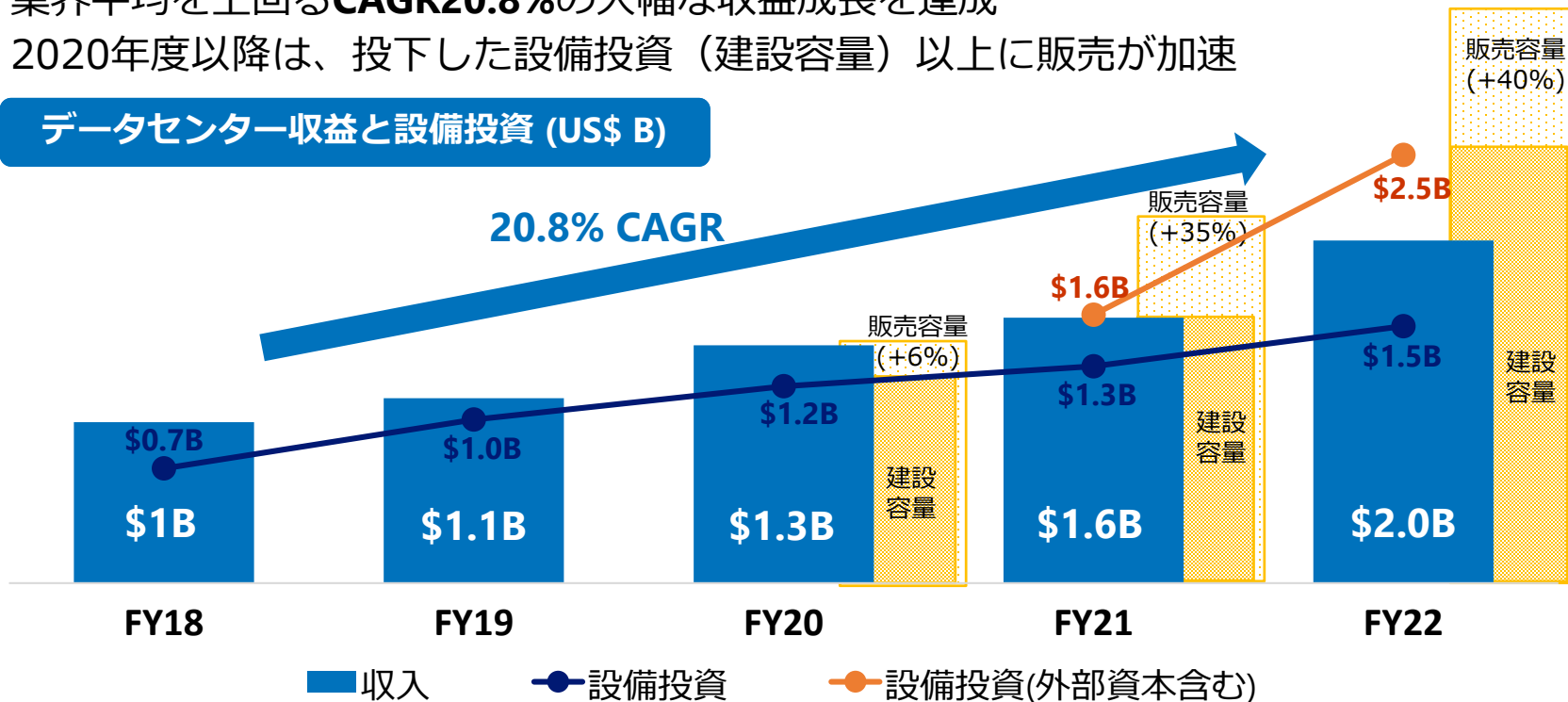
収益と設備投資

データセンター収益と設備投資(FY18-22)*



データセンター拡張への継続的投資により、
業界平均を上回る**CAGR20.8%**の大幅な収益成長を達成
2020年度以降は、投下した設備投資（建設容量）以上に販売が加速

データセンター収益と設備投資 (US\$ B)



* FY22の収入と投資額は現時点の見込み値。

差異化戰略

競合との比較



	A社	B社	C社	D社	NTT
ホールセール、Retail向け データセンター	✓	✓	✓	✓	✓
ハイパースケーラー 向けデータセンター	✓	✓	✓	✓	✓
Build to Suit (オーダーメ イドデータセンター)	✗	✓	✓	✗	✓
クラウド接続	✓	✓	✓	✓	✓
グローバルNW接続	✓	✗	✗	✗	✓
マネージドサービス	✗	✗	✗	✗	✓
アプリケーション サービス	✗	✗	✗	✗	✓

競争力強化に向けた取り組み



コロケーションのみならず、ネットワークの接続性やマネージドサービスなど、競合にはないフルサービスプロバイダーとしての強みを生かし、エンタープライズからハイパースケーラーまで幅広い顧客を獲得していく

カスタマーエクスペリエンス

- ・ フルスタックITソリューション
- ・ クラウドサービスへの接続性
- ・ グローバル一元対応



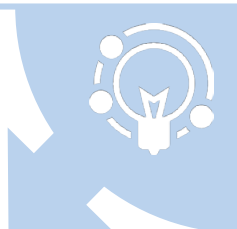
サービスポートフォリオ拡充

- ・ 第三者資本を活用した投資拡大
- ・ 2030年に100%再エネ達成
- ・ Tier2市場への進出



運用品質

- ・ サービスの標準化
- ・ 継続的なプロセス改善
- ・ 新技術や自動化による効率化



満足度向上

- ・ 顧客満足度の向上だけでなく、従業員の満足度やパートナーとの関係性向上へも注力



データセンターを要としたGTM戦略

フルスタックサービスの強み



データセンターをコア基盤として、コネクティビティからマネージドサービス・コンサルティングまでフルスタックで様々な業界へ提供

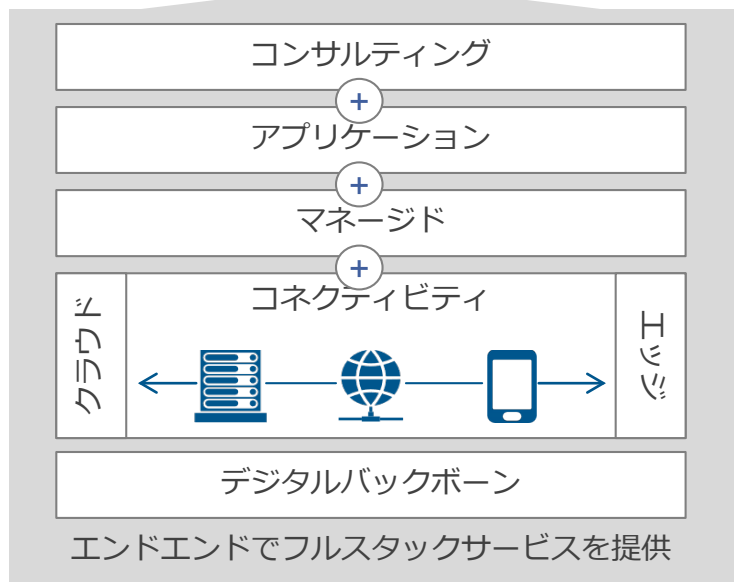


つくる ← 業界横断でイノベーションを促進 → つなぐ



IT サービス&
コンサルティング

エッジtoクラウド
ソリューション

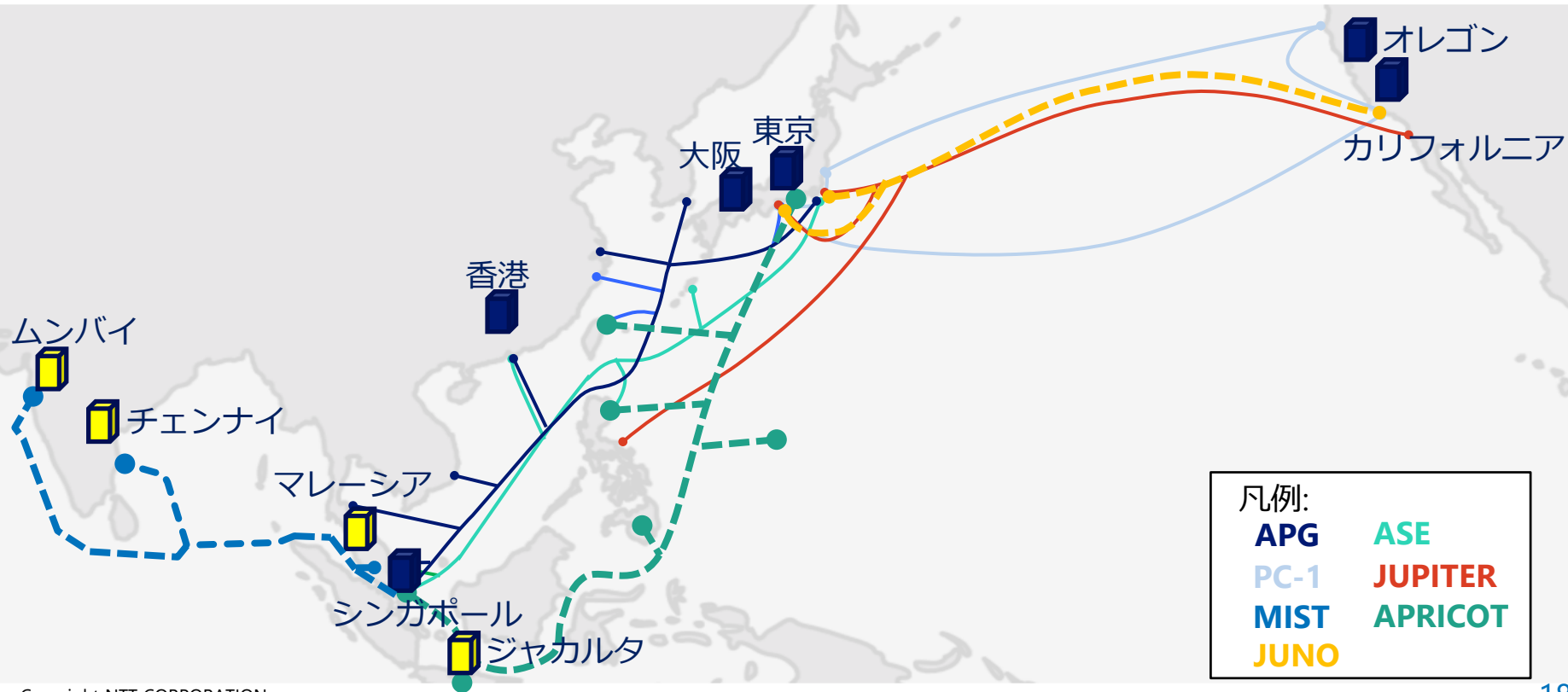


デジタル
フルスタック
ソリューション

データセンターと海底ケーブル



海底ケーブルに直結することで、クラウド事業者向けに低遅延のサービスを提供。またクラウドサービスとの相互接続ポイントとして、企業ユーザー向けに高付加価値のデータセンターを提供



成長戦略

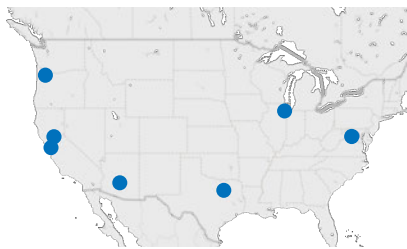
拠点拡大戦略



- 地域ごとの特性を踏まえた拡大戦略を通じて、データセンター事業の成長戦略を推進
- 日本は主要市場の一つとして、旺盛な需要を取り込むために投資を加速

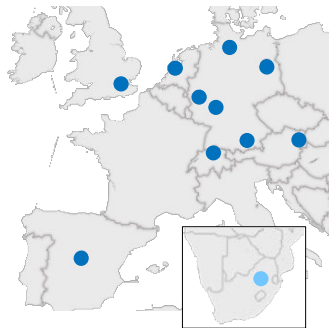
AMERICAS

最大市場に合わせたフットプリントの拡大による需要の取り込み



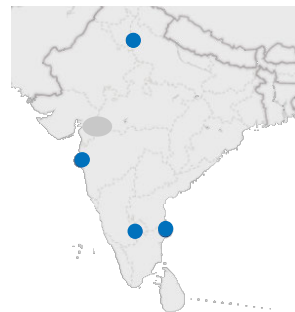
EMEA

主要市場のドイツでの強みを生かし、Tier2都市を含め投資拡大



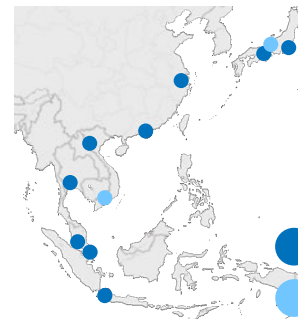
INDIA

先行者利益を享受しつつ、高成長市場に合わせ投資拡大



APAC

各国の特性を踏まえた成長戦略に沿って投資拡大



● : 提供中
● : 計画中



自社開発

長年の構築・運営ノウハウを活用した、自社開発のデータセンターを拡大



土地の先行取得

需要を見越した土地への先行投資を通じて、長期的な成長を実現



M&A

新たな地域への進出オプションとして、M&Aも視野に入れ検討

グローバルデータセンター：地域の需要に合わせて投資を継続

NTTのデータセンターは、引き続き以下の新規拠点を追加予定



FY2021

アメリカ  シリコンバレー SV1 データセンター 16MW	アメリカ  アッシュバーン VA5 データセンター 32MW	イギリス  ヘメル・ ヘムステッド 4 データセンター 24MW	アメリカ  フェニックス PH1 データセンター 36MW	スイス  チューリッヒ 1B データセンター 10MW	インド  ナビムンバイ 1A データセンター 30.4MW	ドイツ  ベルリン 2 A/B データセンター 24MW	スペイン  マドリッド 1 データセンター 6.3MW	インドネシア  ジャカルタ 3 データセンター 15.2MW	インド  ムンバイ 8 データセンター 24MW	ドイツ  フランクフルト 4D データセンター 12MW
---	--	--	---	--	---	---	--	---	---	--

FY2023

ドイツ  フランクフルト 11 データセンター 7.5MW	南アフリカ  ヨハネスブルク 1 データセンター 12MW	インド  ナビムンバイ 2 データセンター 83MW	インド  ナビムンバイ 1B データセンター 30.4MW	インド  チェンナイ 2 データセンター 22.4MW	インド  ベンガルール 3 X データセンター 9.6MW	オーストリア  ウィーン 1C データセンター 5.3MW	アメリカ  アッシュバーン VA8 データセンター 15.5MW	ドイツ  ボン 1B データセンター 4.8MW	マレーシア  サイバージャヤ 6 データセンター 7MW	ドイツ  フランクフルト 4E/F/G データセンター 36MW
--	--	---	--	--	---	--	--	---	---	--

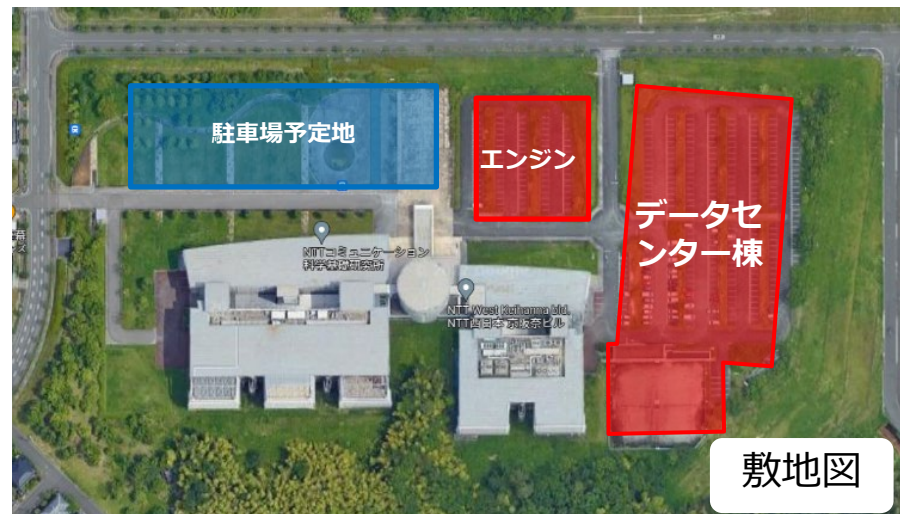
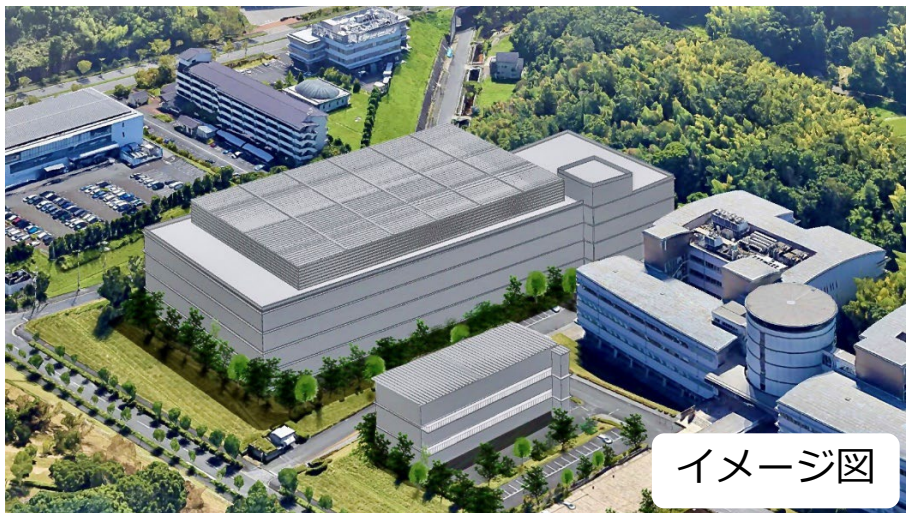
FY2024

インド  デリー(ノイダ) 2 データセンター 22.4MW	インド  ムンバイ 9 データセンター 41.6MW	インド  ナビムンバイ 1C データセンター 25.6MW	アメリカ  アッシュバーン VA6/7 データセンター 60MW	アメリカ  ダラス TX2/3 データセンター 72MW	アメリカ  ヒルズボロ HI2 データセンター 36MW	アメリカ  フェニックス PH2/3 データセンター 72MW	ベトナム  ホーチミン 1 データセンター 6MW	インド  ナビムンバイ 1D データセンター 16MW	日本  京阪奈 データセンター 30MW	イギリス  ロンドン 1B データセンター 32MW
--	---	--	--	---	--	---	--	--	---	---

日本における成長戦略 – 京阪奈



京阪奈にあるNTT研究所内に新たに計画している30MW規模のデータセンター
総務省による「データセンター、海底ケーブルなどの地方分散によるデジタルインフラ強靱化事業」の認定を受け、デジタルインフラの地方立地を支援する事業としてデータセンター建設を行い、2025年に竣工予定。今後、他エリアへの展開も計画



外部資本を活用した投資拡大戦略



外部資本活用によるメリット



外部資本活用による投資拡大



バランスシートの最適化



NTTによる
オペレーション
は継続

1

BOM 8



- ・ムンバイ中心部における24MWの開発プロジェクト
- ・2021年6月に東京センチュリーとJV組成発表

2

NAV2



- ・ムンバイ郊外における約300MWのキャンパス開発プロジェクト
- ・2021年11月に東京センチュリーとJV組成発表

3

HCMC



- ・ベトナムのホーチミンにおける6MWの開発プロジェクト
- ・2022年3月に現地大手SI事業者のQDTekとのJV組成発表

4

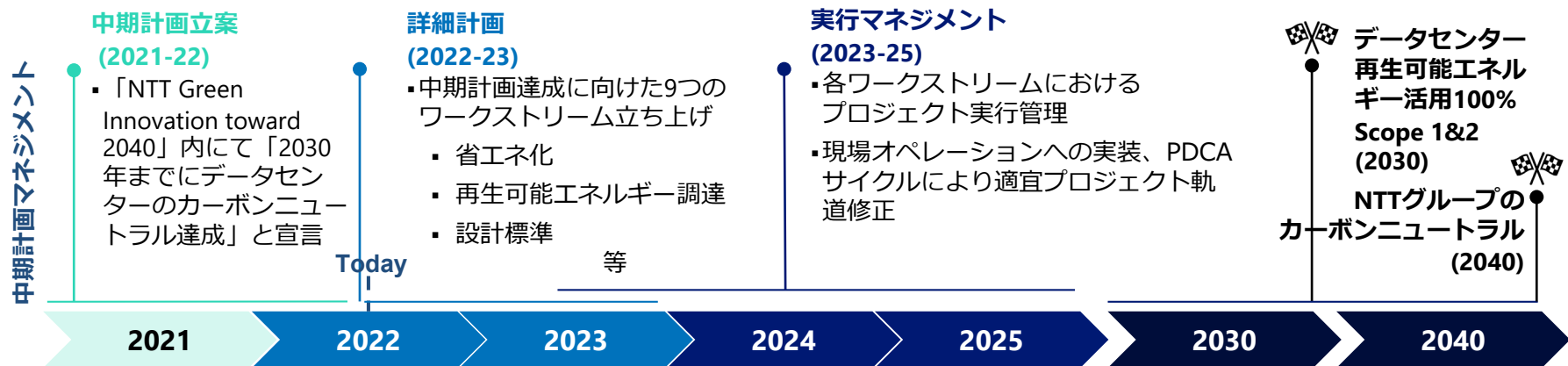
US/Europe



- ・2022年4月にMacquarie Asset Managementとの間で、欧州とアメリカに保有するデータセンターに関する戦略的パートナーシップを締結

サステナビリティへの取組み

サステナビリティへの取り組み



＜参考＞データセンター(全世界)における
再生可能エネルギー活用割合

FY21	FY22(予測)
28.8%	38.7%

アメリカでの事例



NTT GDC Americasの最新動向 IR DAY 2022

Doug Adams | President and CEO

2022年9月29日

NTT GDC Americasの事業展開



7つの主要な市場で13のデータセンターを提供中

サクラメント
(CA 1-3)
52.7 MW提供中

ヒルズボロ
(HI 1-5)
36 MW提供中
114 MW拡張可能

シカゴ
(CH 1-3)
36 MW提供中
68 MW拡張可能

シリコンバレー
(SV 1)
16 MW提供中

フェニックス
(PH 1-7)
36 MW提供中
204 MW拡張可能

ダラス (TX 1-3)
16 MW提供中
72 MW拡張可能

アッシュバーン (VA 1-VA 9) /ゲインズビル (VA 10-13)
106.6 MW提供中
486 MW拡張可能

主要企業統計

7の米国市場

13のデータセンター提供

99MWを既に今年度受注

299MWを提供中 (ITロード)

480+の顧客数(GDCA全体)

500+の従業員

6億8000万ドルの設備投資

750+ MWの拡張容量M

共通のモジュラー設計を採用することにより、各データセンターでの在庫を最小限に抑え、需要に応じて迅速かつ柔軟に構築することが可能。またこれにより、急遽発生した需要に対しても他サイトの機器を活用することが可能

高品質



迅速

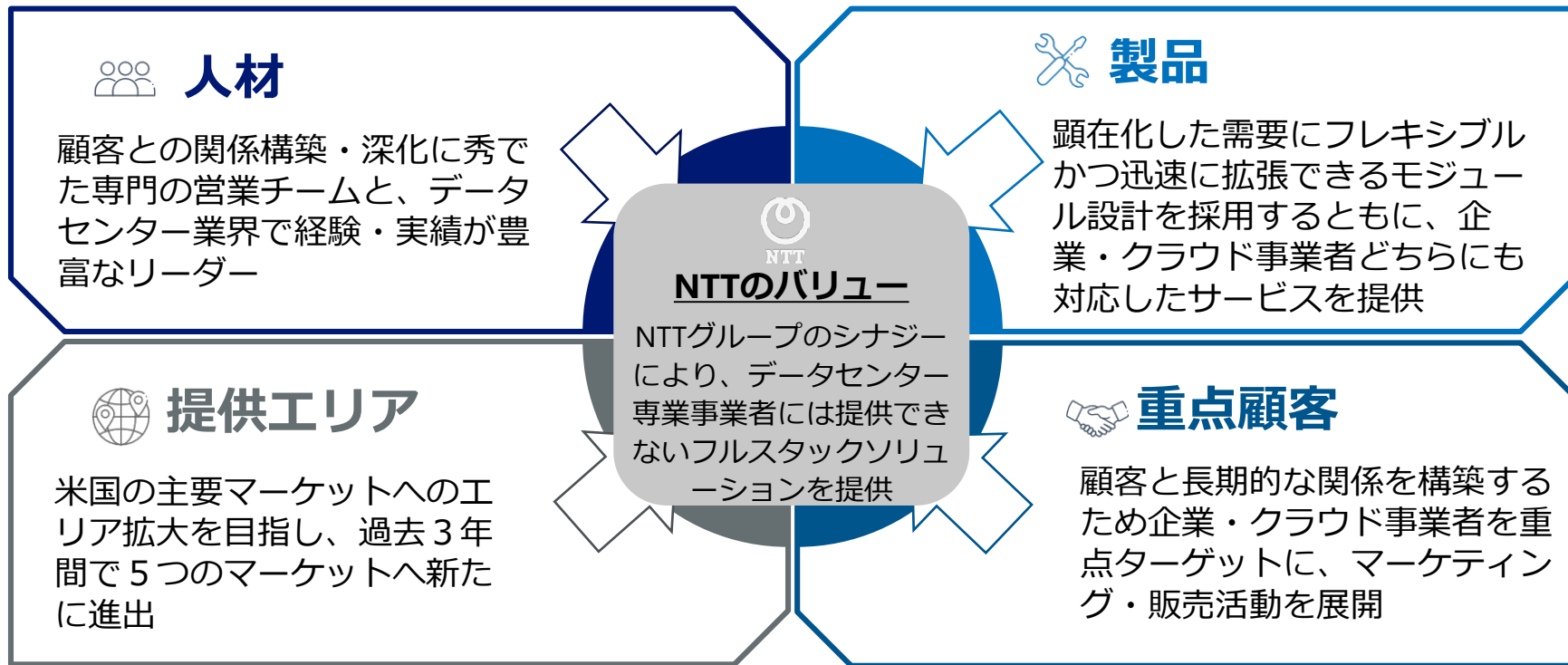


柔軟

低コスト



過去5年間にわたり、米州リージョンの事業強化に向けて以下の取り組みに注力



経験豊富な幹部人材



各分野で経験豊富なリーダーが、NTT GDC Americasの事業を牽引



ダグ・アダムス

最高経営責任者

- ・ GDC Americasに設立以来23年間在籍
- ・ リレーションシップと事業拡大を担当



ベン・スチュワート

オペレーション担当上級副社長

- ・ 沿岸警備隊で25年の経験を持ち、データセンター業界で20年の経験
- ・ データセンター設備の運営・維持管理の責任者



和田 崇裕

経営企画担当副社長

- ・ NTT在籍26年で、データセンター業界には10年間従事
- ・ NTT GDC Americasへの投資担当責任者



ジョー・ペース

戦略企画担当上級副社長

- ・ 空軍に20年在籍し、データセンター業界で8年間従事
- ・ 不動産取引を監督し、特命事項の責任者



ジョー・ゴールドスミス

営業担当上級副社長兼最高収益責任者

- ・ 業界で21年の経験を持つベテランで、4つの異なる会社で幹部を歴任
- ・ 市場拡大戦略と全世界のクラウド事業者営業戦略の実行責任者



メーガン・クラフカ

財務担当上級副社長兼最高財務責任者

- ・ 公認会計士として22年間の実務経験を有し、データセンターで12年間従事
- ・ 財務分析の監督責任者



ブリタニー・ミラー

建設担当副社長

- ・ 建設、契約、データセンターのサプライチェーンマネジメントで16年の経験
- ・ 建設プロジェクトの責任者として業界標準のデータセンター建設を主導



ブルーノ・ベルティ

プロダクトおよびGTM担当上級副社長

- ・ データセンターのコロケーションとSaaSの実装に19年の実績
- ・ 製品戦略と最適化の実行責任者



デニス・ハナン

法務・人事担当上級副社長

- ・ 27年の弁護士経験があり、20年以上の不動産取引の経験
- ・ 法務・ガバナンス、人事、リスク&コンプライアンスの統括責任者

データセンター業界での経験



DIGITAL REALTY



Microsoft



CyrusOne



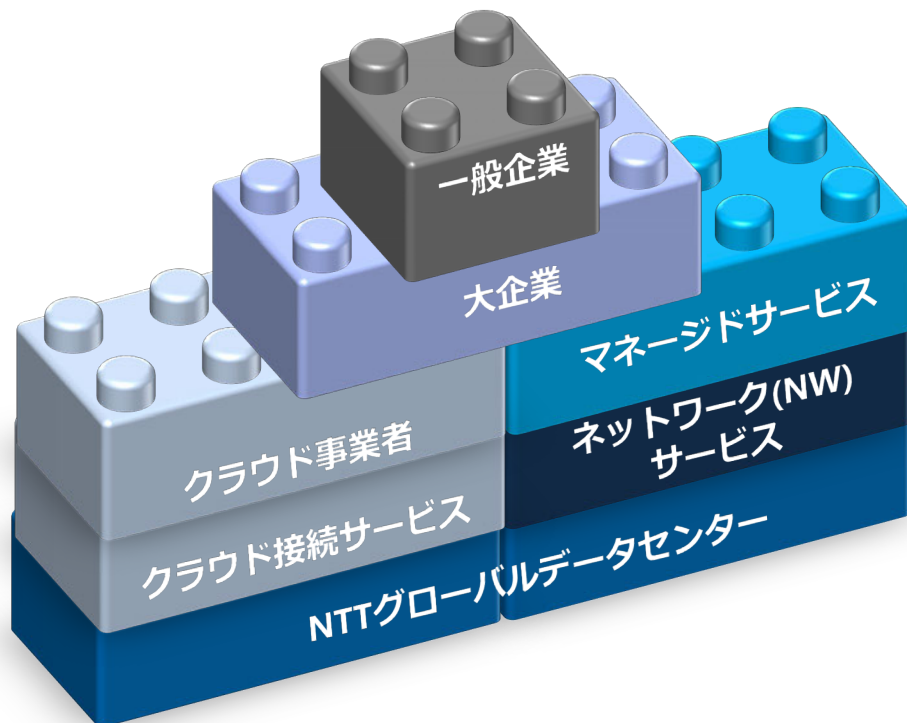
SUNGARD®
AVAILABILITY
SERVICES™



EQUINIX



NTTグローバルデータセンターの優位性



クラウド事業者向けに業界最高水準のデータセンターを提供



クラウドサービスへの接続やNTTによるネットワークやマネージドサービスによる差別化

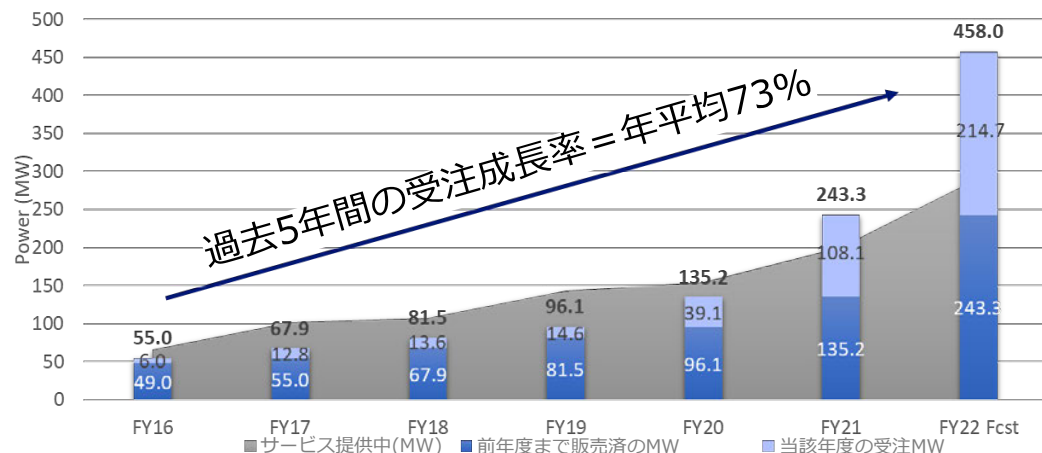


データセンターを起点としたフルスタックサービスで差別化

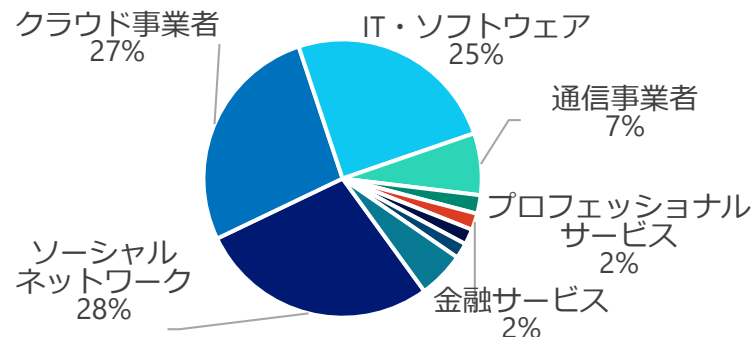
NTT GDC Americasの事業成長と拡大



NTT GDC Americasでは、GTM戦略の継続的なブラッシュアップにより、直近5年間で新規マーケットでの新規顧客の獲得を実現し、またスケールを重視した事業展開により、急成長を実現



多様な顧客基盤



2016年度

1億3100万
米ドル

2021年度

2億9400万
米ドル

2022年度*

4億3000万
米ドル

7年間での収益成長

- 顧客数・業種ともに増加
- 全業種で解約率は低い (0.3%未満)
- 顧客の利用容量も大幅に増加

NTTデータとの協業により、NTT GDC Americasのデータセンターを、アドバイザー、実装サービス、運用代行等のサービスを、プライベートクラウドソリューションを求める企業に対し一元的に提供

データセンター

1. コロケーション
2. インフラ監視
3. クライアント環境
4. クライアントアクセス
5. 変更管理

スマートハンズ

1. 発送/受取
2. オンサイトサポート
3. メンテナンス

コンピューティング

1. ハイパーバイザを含むプラットフォーム管理
2. プラットフォーム監視
3. インシデント・イベント管理
4. ゲストシステム管理者

ネットワークサービス

1. NTTネットワーク依存性のための接続サポート
2. ネットワークのリファイン

ストレージ/バックアップ

1. ストレージ基盤の管理
2. ストレージ報告書
3. バックアップ基盤のF管理
4. インシデント・イベント管理
5. ストレージとバックアップの管理

情報セキュリティ

1. セキュリティ制御の支援
2. 監査サポート
3. セキュリティ設定の検証
4. セキュリティとコンプライアンス

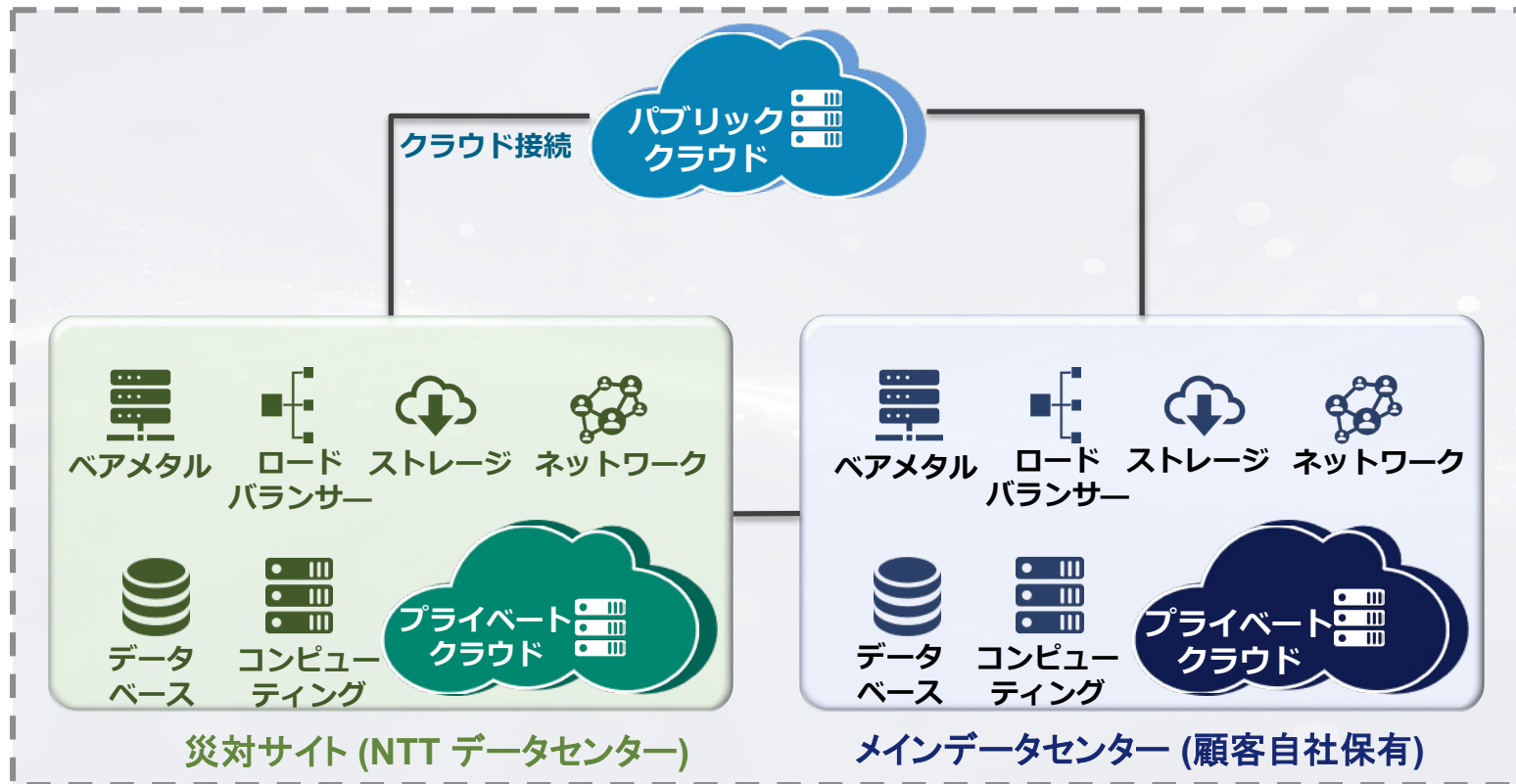
災害復旧

1. コンポーネントDRのマニュアル
2. テスト・演習へ参加
3. DR手続きの支援

移行サービス

1. プロジェクト管理
2. クライアント教育
3. アカウント管理の確立
4. 移行サービス

協業モデル図





iland社は、顧客の基幹ITシステムを、安全で、保護された、復旧容易なクラウド基盤へ移行することを支援するIT事業者

- 以下の要件を満たすNTT GDCのテキサス1データセンタ（500kW）利用
 - 拡張スペースを保証** – ケージで囲われたIT環境の隣に拡張用地確保
 - 柔軟な接続オプション** – 複数の主要通信事業者からインターネットへ接続可能
 - カスタムセキュリティ機能** – サーバは完全に密閉されたケージに収容され、不透明なシールドで覆われ、ケージ内部および出入口に監視カメラを装備
 - リモートハンズ・監視** – 現場のNTT技術者が必要に応じて迅速に問題を解決
- グローバルで事業を展開するクラウド事業者は、世界中の主要な商業都市とその近郊にデータセンターを展開する事業者を信頼できるパートナーとして求める傾向

「我々のクラウド基盤の可用性と顧客の重要データの安全性確保のために、クラウド展開に**地理的な多様性**が必要です。NTTは、我々がデータセンター事業者に求める**顧客重視の姿勢**と**世界中への展開**の両方を持っています。」

ダンテ・オルシーニ氏

11:11 Systems社

最高戦略責任者

NTT GDC Americasでの実績により、欧州でロンドン1データセンター（250 kW）を受注